

# from ほうかつ

令和6年12月発行

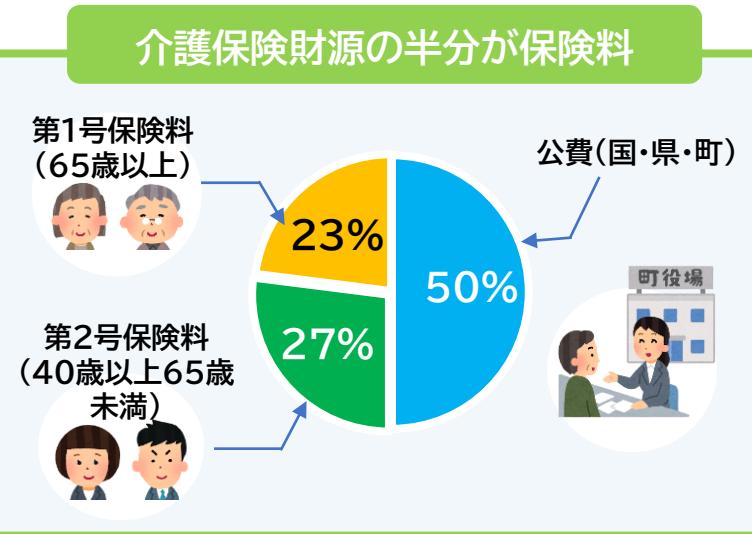
**特集!** 免除終了までカウントダウン!!  
～ 皆さん、心のご準備を～

東日本大震災・原発事故に伴い継続されてきた特例減免措置（震災当時、榊葉町に住民票があった方への免除措置）の見直しにともない、令和6年度現在、介護保険料の半額および介護サービスを使った際の自己負担は全額免除とされています。令和7年度には、介護保険料の半額免除が終了し、令和8年度にはサービス利用時の自己負担分の全額免除も完全に終了して震災前のかたちに戻ります。元に戻るだけなのですが、「免除」に慣れてしまい、保険料や自己負担分を支払うことに負担を感じる方もいると思います。

今回は、介護保険制度の仕組みをおさらいし、来年度からの変更点を分かりやすくお届けします。免除終了のカウントダウンは始まっています。心の準備も始めましょう！

**介護が必要な方を社会全体で支える「介護保険制度」について知ろう**

介護保険料は、第1号被保険者（65歳以上の方）と第2号被保険者（40歳以上65歳未満の方）が納めます。介護保険制度は「介護保険料」と「公費（税金）」の2つで運営されており、財源のうち50%を介護保険料でまかない、残り50%を公費（税金）でまかなう仕組みになっています。



**介護保険の財源をもとに 様々なサービスが利用可能に!**

- 居宅サービス
- 通所サービス
- 施設サービス
- 福祉用具

**Points!** 介護保険財源の半分は、皆さんが納めている保険料です。保険料は、サービス費用支給の他に介護保険運営にも使われており、大切な財源となっています。そのため、介護保険料を納めないでいると、いざサービスを使おうとした時に介護保険から支給ができずに自己負担分が高くなり、十分な介護サービスが受けられない場合がありますので注意が必要です。

## 来年度からどう変わる? ~ 介護保険料と自己負担

今年度、介護保険料の半額が自己負担（残り半額は免除）となっていますが、令和7年度からの保険料は全額が自己負担に戻ります。また、介護サービスを利用する際の自己負担額は、令和7年度まで全額免除となっていますが、令和8年度からはサービス利用料の1割(収入によって2~3割)が自己負担に戻ります。

	今年度	令和7年度	令和8年度
介護保険料を納める額	半額(1/2) 自己負担	全額 自己負担 <small>震災前に戻ります</small>	全額 自己負担
介護サービスの利用料	全額免除	全額免除 <small>震災前に戻ります</small>	1~3割 自己負担

## 経済的な不安を感じたら相談するタイミングが大切です!!

地域包括支援センターが受ける相談内容の中でも「生活困窮」や「生活保護」に関する相談が増えてきています。支援制度の一つである生活困窮者自立支援法で「生活困窮者とは、就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義されていて、実際の相談支援でも様々な相談内容があり、必要な支援機関（多機関）とも連携・協働しながら支援を行っています。具体的には、生活困窮の背景（支援課題）を確認しながら、解決に関係する支援者（多機関）と地域共生ケア会議で検討を行ったり、場合によっては生活保護の相談につないでいくこともあります。

**連携・協働する支援機関** 支援者それぞれが持つ専門性や強みを活かし、連携することによって、相談者ひとりひとりに合った支援を行います

**連携**

- 福島県 社会福祉協議会
- 榊葉町 社会福祉協議会
- 福島県保健福祉事務所(生活保護)
- 榊葉町地域包括支援センター
- 双葉地方権利擁護支援センター8色
- その他 支援機関

**支援内容の例**

- 生活困窮
- 居住の確保支援
- フードバンク対応
- 就労的活動・参加支援
- 福祉資金の貸し付け 等
- 就労支援
- こどもの学習支援
- 収支管理等の生活支援
- 生活保護の相談

**相談** 多職種でチーム支援を行うのですが、滞納・借金・負債額が大きくなるとスムーズな支援が困難になりますので、相談のタイミングはお早めに!

地域包括支援センターは、介護が必要になった時に安心して必要なサービスを受けられるように、状態が重大化する前の早期対応と早期解決を目指しています。上記の制度についても福祉による支援のため、条件により該当とならないこともありますので状態が重大化する前にご相談ください。

**高齢者・障がい者の総合相談窓口**  
 TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156  
 〒979-0604 榊葉町大字北田字鐘突堂5-5 (榊葉町保健福祉会館3F)  
 Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

“馬上発信”



# ～地域ミニデイほっこりあったかエピソード～ その1.「ミニデイがつかない感動の再会」

この時期、各地域のミニデイでは「町めぐりバスツアー」が開催されています。  
\* **町めぐりの見学コース**は、檜葉遠隔技術開発センター、廣徳院、宝鏡寺、木戸ダム、つるし雛ギャラリーなどの見学となっています。  
\* **昼食場所**は、きむらや、なら福、ウッドストーブ、地域活動拠点施設まざらっせを見学しながら事前に準備したお弁当を食べるなどさまざまでした。  
山の木々が少しずつ赤や黄色に変わり始め、檜葉町の秋の景色を皆さん楽しんでいました。

## ミニデイ物語

つるし雛ギャラリーの見学をした時の事です  
「久しぶり～」と抱き合う二人が目飛び込んできました。なんと!!  
ミニデイ参加者とギャラリーの方が13年ぶりに再会したと言うのです。  
「何してるかな・・・」と気になってはいたものの、自家用車を所有していないお二人はお互いに会う機会がなかったようです。今回、ミニデイの町めぐりバスツアーに参加したことで13年ぶりの再会に繋がりました。これぞミニデイがつかない感動の再会です。

お二人の再会を見た時には、目頭が熱くなり心がほっこり温かくなりました。同じ町に住んでいても中々会う機会がない。そんな方は他にもおられるのではないのでしょうか…今回13年ぶりの再会と聞きとてもうれしく思っています。引き続きたくさんのお会いや感動を見つけていきたいです。



# ～地域ミニデイほっこりあったかエピソード～ その2.「いも煮会へのお誘い!!あふれる笑顔」

前原ミニデイの方々から一ツ屋地区の方々に「いも煮会やるから前原のミニデイにおいでよ!!」とのお誘いがありました。一ツ屋地区の方々も参加され、一緒にいも煮を作りました。新米と栗ご飯、おしんこや柚子りんご、みかん、秋の味覚が並びました。

一ツ屋の皆さんの感想



近くに住んでいても、中々会えなかったな…。会える機会があるのはいいね～。

声を掛けてもらって嬉しかった。喜んで参加したんだよ!!

久しぶりに皆と会えて嬉しい。皆と食べるいも煮は格別においしいわ～。

ピカピカの新米を頬張り、おしんこを“ポリポリ”皆さんのあふれる笑顔とおしゃべりが止まりませんでした。「また来たらいいんだよ!」と何気ない一言も聞かれ・・・優しい気持ちになれるひと時でした。

## 檜葉町地域包括ケアシステム

# まじわる つながる 支え合う リレー

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。檜葉中学校からふたば支援学校にバトンが繋がりました。

第6走者



ふたば支援学校



千葉秀樹校長 伊藤秀之教頭

## ～福島県立ふたば支援学校～ (旧富岡支援学校)

昭和53年4月設立 仮設校舎 (小学校生徒数10名)  
四倉校舎 (中学部生徒数7名 高等部生徒数12名)

### ～ふたば支援学校ならではの取り組み～

- \* 児童生徒数が少ない分、子ども達一人ひとりの特性をより注意深く観察しています。その子の持っている強みを引き出し、きめ細やかな指導を行っています。
- \* **これならできる**というものを見つけ時間がかかっても自分でやる抜く力を養っています。
- \* 生徒と教師が一緒になって、様々な体験を通し学ぶことを大切にしています。

### ～檜葉中学校とのつながり～

- \* 中学部の総合学習では檜葉町について調べる学習を行ったり、檜葉中学校との交流及び共同学習を行ったりしています。小学部では、今後檜葉小学校と交流していきたいと思っています。

### ～檜葉町とのつながり～

- \* 基幹相談支援センターや檜葉町こども課、檜葉町地域包括支援センターとは日々連携を図っています。令和7年1月からは檜葉町の新校舎で学校生活が始まりますので、益々連携を深めていきたいと思っています。
- \* 檜葉町にある福島しろはとファームさんでは、サツマイモの苗植えから収穫までの体験学習をさせていただきました。子ども達が安全・安心に活動できるように配慮していただき楽しく学ぶことができました。
- \* 檜葉町の方々との交流を深め、地域に根ざした学校作りに取り組んでいきたいと思っています。

### ～子ども達を育てる支援学校の思い～

- \* 自立と社会参加ができるようにという思いを込めて指導を行っています。地域の方々の助けをもらいながら、自分でできることをやり抜き、自ら支援の輪を広げられるよう成長してほしいと思っています。

## ～ みんなのつばやき ～



センター長 江尻

もしサンタさんが来てくれるなら、肩こりがゼロになる湿布をお願いしたい。寒くなってきて肩がバキバキです。皆さんは何をお願いしますか？



社会福祉士 渡邊

サンタさんが来てくれるなら、遠くまで届く声をください。(いつもいつも「なに?」って聞き返されます。)



生活支援コーディネーター 小林

サンタさんが来てくれるなら、ゆったりできる時間がほしいです。(最近とてもバタバタしていました。師走だからかな・・・)



看護師 馬上

サンタさんがきてくれるなら、私のフォローをしてくれるロボットがほしいです。(洗濯、掃除、料理、仕事ゼーンぶ手伝ってほしいです。)